

実用ドイツ語演習 I(その2)

2単位 2年(後期)

依岡 隆児・教授 / 人間文化学科

【授業目的】初級から中級程度のドイツ語を読み、簡単なドイツ語が運用できるようにする

【授業概要】実用ドイツ語をブラッシュアップし、読む・書くの技能を中心に、中級程度のレベルを目指す。書くためにも、読むトレーニングは不可欠である。中級程度の教科書を適宜使用しながら、多様なドイツ語に触れられるようにする。

【キーワード】ドイツ語、ドイツ文学、ドイツ語圏の文化、比較文化

【先行科目】『実用ドイツ語演習 I(その2)』(1.0)

【到達目標】

1. 初級から中級程度のドイツ語が読み、簡単なドイツ語を実際に運用できる技能を身につけること。
2. 外国語の基本的運用能力と国際感覚の醸成。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 初級から中級程度のテキストの読解
3. ビデオ鑑賞などにより背景の文化・社会についての理解を深める

【成績評価】授業への取り組みにもとづいて総合的に評価します。

【再試験】なし。

【教科書】小林和貴子ほか『Reise nach Fantasia ようこそファンタジーの世界へ』(同学社)、あるいは『Prismen』(東大教養部ドイツ語部会編)のテキストを適宜使用。

【参考書】授業中に紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218685>

【連絡先】

⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 火曜日 12時から 13時)